

陸上部顧問・団体の代表者様
保護者様

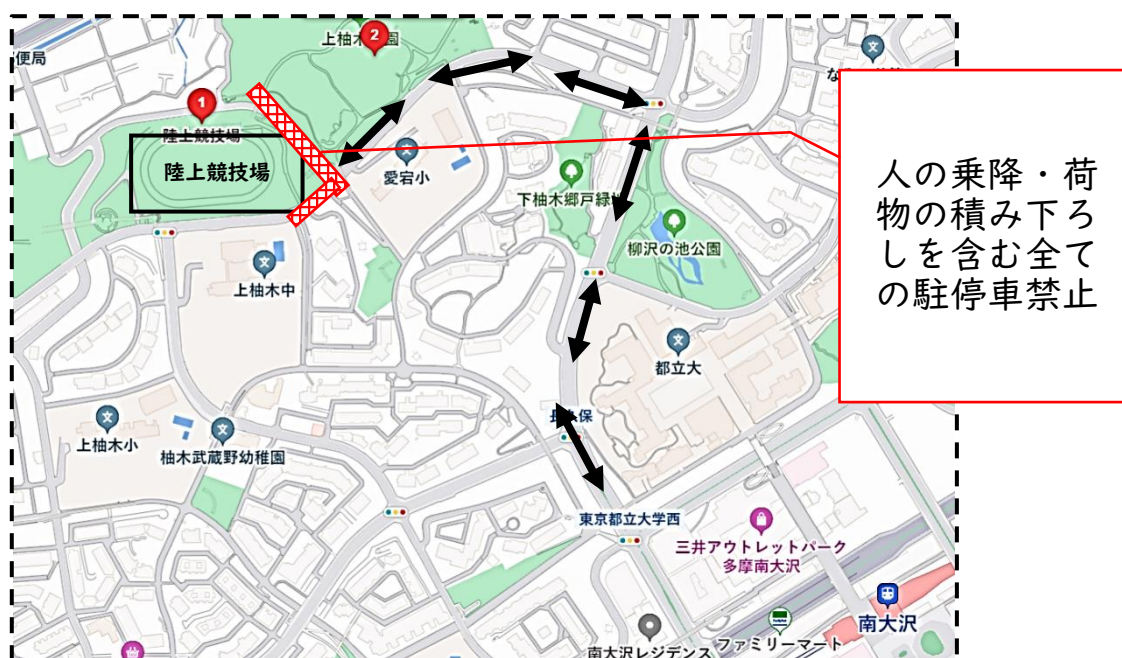
東京都中体連陸上競技専門部
競技委員会

支部対抗に向けてのお願い・確認事項

毎年のお願いと今年度の確認事項も含まれておりますので、以下の点をご確認ください。上柚木公園陸上競技場を利用しての大会が今後も開催できるように、ご協力ください。

1 上柚木競技場への経路について

- (1) 南大沢駅からは、団地の中は通らず、バス通りを通ってきてください。南大沢駅から、都立大前の道路を北へ行き「柳沢の池公園北」の交差点を左折し競技場へ行ってください。
- (2) 道いっぱいには広がって歩かないようにご指導ください。



2 臨時駐車場について

- (1) 多目的広場を臨時駐車場としています。特に、野球場に隣接する駐車場には駐車しないようにしてください。
- (2) 競技終了後は、速やかに車の移動をお願いします。(係の先生が帰ることができません。)



3 競技場への生徒の来場・帰宅について

- ・安全上の配慮から、生徒は朝7時よりも前に競技場に来場しないこととなっています。
(保護者の方による送迎も7時以降到着としてください。)
- ・競技会終了後、迎えの保護者の方の到着を生徒だけで1時間以上待っている光景がありました。安全管理・体調管理の面からも、生徒だけで長時間待機することがないように、引率顧問・指導者・保護者の方は速やかな帰宅への協力をお願いします。

4 生徒・保護者の来場について

- (1) 来場できる生徒(A Dカードが発行される生徒)は、支部対抗に出場する生徒(両日来場可)と、出場者をサポートする生徒(各支部5名まで)です。
- (2) 体調不良時には無理せず欠場してください。
- (3) 競技場内へ入るには、A Dカードが必要です。保護者用のA Dカードの数は、出場生徒1名につき1枚です。
- (4) 保護者はメインスタンドの保護者観戦場所のみでの観戦となります。メインスタンドへの入場もA Dカードが必要です。お子様の競技の時間帯のみの利用にご協力をお願いいたします。
- (5) 競技場内に顧問・代表者がいる場合には、A Dカードの受け取りに顧問・代表者が競技場の外へ出て受け渡しが必要となり、連絡が必要となります。保護者・顧問・代表者の連絡先の確認をしておいてください。T I Cでは対応できません。

5 公園の利用について

- (1) 公園内の遊具では遊ばないようにご指導ください。
- (2) コンビニ等で購入した物の公園内での食べ歩き等のないようにご指導ください。
- (3) 公園内でメディシンボール・砲丸を使ってのウォーミングアップは安全確保の観点から禁止します。

6 その他

- (1) 各支部が設置しているテントについて、風で飛ばないようにしっかりと固定してください。
- (2) 100mスタート後方の招集所で招集(チェック)を受ける必要があります。
- (3) 撮影ができるのは、A Dカードを携帯している「大人」のみです。生徒による撮影は認めていません。
- (4) 近年、申込一覧表に外字申込が増えているため、プログラム編成に大幅な修正が必要で、編成担当が多大な苦勞を強いられており、プログラムの記載内容については、「常用漢字」での登録にさせていただきます。なお、賞状等の扱いについては、各団体の顧問の先生・指導者の方が、ホームページの「大会要項」のページから「外字登録申請ファイル」をダウンロード・記入し、大会当日の朝9時までに大会本部に提出することになっています。

※ここまでは顧問の先生・団体の指導者・保護者の方向けの内容です

※裏面は顧問の先生・団体の指導者の方向けの内容です

この面は陸上部顧問の先生・団体の指導者の方向けです。

8 公園の利用について

※ 使用させていただく競技場外の公園は一般の方も利用します。

- (1) 競技場内については支部ごとに割り振りを行いますが、公園外について指定は行いません。
- (2) あずま屋（屋根がありベンチがある場所）は場所取り禁止です。
- (3) テント設営については、歩行者用通路を塞がないでください。
- (4) 400mスタート外側の通路（第5駐車場と競技場の間の通路）の半分は緊急車両用にあげてください。

9 その他

- (1) リレーのテープには、学校名を記載してください。また、練習後はテープをはがすようにご指導ください。
- (2) 地域スポーツ団体からの参加もできるようになっています。出場する所属のユニフォームを着用することとなります。（地域クラブから出場の場合には学校のユニフォームは着用不可、学校から出場の場合には地域クラブのユニフォームは着用不可。体育着は着用可。）リレーについては、出場4名の服装を統一させる規定が別途あります。（要項の8ページ参照）

10 靴底の厚さの対応について

陸上競技のルールに基づき、東京都中体連陸上競技専門部として以下のように対応しています。

- (1) 靴底（ソール）の厚さについての規程は、砲丸投・円盤投を除くフィールド種目および800m未満のトラック種目は最大20mmです。800m以上のトラック種目は最大25mmです。スパイクシューズでない場合には、招集の際に計測・型番の確認を行います。規定値を越えた場合でも競技への出場はできますが、ワールドアスレティックス（WA）のシューズリストで承認された靴かどうか確認を行い、承認された靴でないことが確認された場合には失格（DQ）扱いとして扱います。失格となった場合には記録は認められません。リレー競技についても、出場4人のすべてが規定を満たす必要があります。
- (2) 砲丸投・円盤投の規定は20mmですが、除外規定を適用しますので規定外の靴を使用しても競技会には出場でき、都大会までの出場は認められます。